

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	株式会社マキタ 本社立休駐車場	階数	地上2階
建設地	愛知県安城市住吉町3丁目461-1、472-10	構造	S造
用途地域	工業地域・市街化区域	平均居住人員	567 人
気候区分	6地域	年間使用時間	1,690 時間/年
建物用途	工場	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2020年6月 予定	評価の実施日	2019年11月11日
敷地面積	13,700 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社GUIIS 古澤
建築面積	3,226 m <sup>2</sup>	確認日	2019年11月11日
延床面積	6,342 m <sup>2</sup>	確認者	株式会社GUIIS 古澤

### 2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

**BEE = 1.1** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>温暖化影響チャート

☆☆☆☆☆

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	64%
③上記+②以外の	64%
④上記+	64%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価 (バーチャート)

**Q のスコア = 2.7**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 0.0

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.6

#### Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア= 2.8

**LR のスコア = 3.4**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.1

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.6

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.2

### 3 重点項目

<h4>①地球温暖化への配慮</h4> <p>4.4</p>	<h4>③敷地内の緑化</h4> <p>2.0</p> <p>外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積)</p> <p>19.8 %</p> <p>建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積)</p> <p>0.0 %</p>
<h4>②資源の有効活用</h4> <p>2.5</p>	<h4>④地域材の活用</h4> <p>1.0</p> <p>&lt;外装材に使用した地域性のある材料&gt;</p> <p>なし</p> <p>&lt;建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材&gt;</p> <p>なし</p>

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮  
LR-3 1 地球温暖化への配慮

②資源の有効活用  
Q-2 2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性  
LR-2 2 非再生性資源の使用量削減

③敷地内の緑化  
Q-3 1 生物環境の保全と創出

外構緑化指数 =  $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積から建物面積(建築面積及び附属物面積)を除いた}} \times 100$

建物緑化指数 =  $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建物によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}} \times 100$

みんなの環境活動を応援しています

スコアシート		基本設計段階		建物全体・共用部						建物全体・共用部		居住・宿泊部分		全体	
配慮項目	独自基準 重点項目	環境配慮設計の概要記入欄				建物全体・共用部		建物全体・共用部		居住・宿泊部分		全体			
		評価点	評価点	重み係数	評価点	評価点	重み係数	評価点	評価点	重み係数	全体				
<b>Q 建築物の環境品質</b>													<b>2.7</b>		
<b>Q1 室内環境</b>													<b>-</b>		
<b>1 音環境</b>													<b>-</b>		
1.1 室内騒音レベル													3.0		
1.2 遮音													-		
1 開口部遮音性能													-		
2 外壁遮音性能													-		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)													-		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)													-		
1.3 吸音													-		
<b>2 温熱環境</b>													<b>-</b>		
2.1 室温制御													-		
1 室温													3.0		
2 外皮性能													3.0		
3 ゾーン別制御性													3.0		
2.2 湿度制御													3.0		
2.3 空調方式													3.0		
<b>3 光・視環境</b>													<b>-</b>		
3.1 屋光利用													-		
1 屋光率													3.0		
2 方位別開口													-		
3 屋光利用設備													3.0		
3.2 グレア対策													-		
1 屋光制御													5.0		
3.3 照度													3.0		
3.4 照明制御													3.0		
<b>4 空気質環境</b>													<b>-</b>		
4.1 発生源対策													-		
1 化学汚染物質													3.0		
4.2 換気													-		
1 換気量													3.0		
2 自然換気性能													3.0		
3 取り入れ外気への配慮													3.0		
4.3 運用管理													-		
1 CO <sub>2</sub> の監視													3.0		
2 喫煙の制御													3.0		
<b>Q2 サービス性能</b>													<b>0.43</b>		
<b>1 機能性</b>													<b>-</b>		
1.1 機能性・使いやすさ													-		
1 広さ・収納性													3.0		
2 高度情報通信設備対応													3.0		
3 バリアフリー計画													3.0		
1.2 心理性・快適性													-		
1 広さ感・景観 (天井高)													3.0		
2 リフレッシュスペース													3.0		
3 内装計画													3.0		
1.3 維持管理													-		
1 維持管理に配慮した設計													3.0		
2 維持管理用機能の確保													-		
<b>2 耐用性・信頼性</b>													<b>0.5 2.6 0.52</b>		
2.1 耐震・免震・制震・制振													0.4 3.0 0.48		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)													3.0 3.0 0.80		
2 免震・制震・制振性能													3.0 3.0 0.20		
2.2 部品・部材の耐用年数													0.3 2.4 0.33		
1 躯体材料の耐用年数													- 3.0 0.27		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔													- 3.0 0.27		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔													- - -		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔													- - -		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔													- - 0.18		
6 主要設備機器の更新必要間隔													- 3.0 0.27		
2.4 信頼性													0.1 2.0 0.19		
1 空調・換気設備													3.0 - -		
2 給排水・衛生設備													3.0 - -		
3 電気設備													3.0 3.0 0.33		
4 機械・配管支持方法													3.0 1.0 0.33		
5 通信・情報設備													3.0 2.0 0.33		



**重点項目スコアシート**

基本設計段階

■使用評価マニュアル

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き

株式会社マキタ 本社立体駐車場

■評価ソフト:

CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)\_AICHI

重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する 重み係数	重点項目スコア
<b>① 地球温暖化対策</b>				<b>4.4</b>
LR3-1	地球温暖化への配慮	4.4	0.10	
<b>② 資源の有効活用</b>				<b>2.5</b>
Q2-2	耐震性・信頼性	2.6	0.22	
Q2-3	対応性・更新性	2.6	0.21	
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	2.5	0.19	
<b>③ 敷地内の緑化</b>				<b>2.0</b>
Q3-1	生物環境の保全と創出	2.0	0.17	外構緑化:19.8%/建物緑化:0%
<b>④ 地域材の活用</b>			(評価ポイント)	<b>1.0</b>
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	なし
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	なし

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用  $\frac{\text{評価点} \times \text{全体に対する重み}}{\text{重みの総和}}$  の総和

重点項目スコア=  $\frac{\text{評価点} \times \text{全体に対する重み}}{\text{重みの総和}}$

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

## ■ 環境設計の配慮事項

■ 建物名称 株式会社マキタ 本社立休

計画上の配慮事項	
総合	既存の建物や周辺環境への調和などの配慮に努めている。
Q1 室内環境	自走式自動車駐車場の為評価対象外。
Q2 サービス性能	特になし
Q3 室外環境(敷地内)	敷地内に緑地を配置し、既存の建物を含め周辺環境に配慮している。
LR1 エネルギー	照明にLEDを使用。
LR2 資源・マテリアル	特になし
LR3 敷地外環境	特になし
その他	注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。